

事務事業名	市議会広報事業		所属部局	議会	単位番号	9004					
			所属課室	議会事務局	課長名	清水 栄男					
			所属担当		担当者名	村松 直樹					
基本政策	基本計画体系	99	施策に結びつかないもの	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		99	施策に結びつかないもの		01	一般	01	01	01	030	04
施策		99	施策に結びつかないもの	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠	南アルプス市議会だより発刊に関する条例							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
	年4回定例会後、2ヵ月後を目途に「南アルプス議会だより」を新聞折込により、市内各世帯に配布。事務の流れは次の通り。①質問議員に代表・一般質問の内容確認をとる。②事務局において編集。③編集委員会で校正。④入札し業者に印刷発注。④納品。⑤新聞折込。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				その他報償費							
				印刷製本費	3,716						
			手数料	1,782							
						計	5,498				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
26年度活動内容	年4回の定例会後に編集した議会だよりを新聞折込により配布する。
27年度活動予定	年4回の定例会後に編集した議会だよりを新聞折込により配布する。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民及び市内在住者等	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
市民に市議会の活動を知ってもらう。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
議会活動をとらして市政に興味を持ってもらい、市政に参加してもらう。市民に興味を持ってもらうことで議会活動の活性化につながる。	

⇒		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない
	名称	単位
⇒	ア 発行部数	部
	イ 発行回数	回
⇒	ウ	
⇒		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない
	名称	単位
⇒	ア 新聞折込部数	部
	イ その他配布数	部
⇒	ウ	
⇒		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない
	名称	単位
⇒	ア 広報についての意見等の数	件
	イ 市議会に関心を持った対象者数	人
⇒	ウ 議会傍聴者数	人
⇒		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない
	名称	単位
⇒	ア 代表・一般質問の延べ人数	人
	イ 満足度調査数値	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	5,353	5,575	5,498	6,160	6,160	6,160	
		事業費計(A)	千円	5,353	5,575	5,498	6,160	6,160	6,160	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4				
		延べ業務時間	時間	160	160	160				
		人件費計(B)	千円	728	728	728	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	6,081	6,303	6,226	6,160	6,160	6,160	0
	活動指標	ア 部		22,000.0	22,000.0	22,000.0				
		イ 回		4.0	4.0	4.0				
		ウ								
	対象指標	ア 部		20,750.0	20,750.0	20,750.0				
		イ 部		1,000.0	1,000.0	1,000.0				
		ウ								
	成果指標	ア 件								
		イ 人		300.0						
		ウ 人								
	上位成果指標	ア 人		60.0						
		イ %								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市議会の活動状況を広く市民に広報し、議会への関心を高めてもらうため、平成15年(合併当初)に開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	情報の伝達方法が多様化し、活字離れが進んでいる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	市民からは特に意見要望はないが、議員から、さらに見て・読んでもらえるような紙面に努力する必要があるとの声もある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	市政及び市議会の活動に関心を持ってもらえるよう、見やすく、分かりやすい文章表現、紙面作成を行っている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	編集委員会において、紙面の見やすさや記載内容等について検証し、市民への議会活動発信ツールとして成果向上が図れるよう各号毎に協議、検討を行なっている。県広報コンクールにおいて奨励賞を受賞し評価も得ている。

事務事業名	市議会広報事業	所属部	議会	所属課	議会事務局
-------	---------	-----	----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 議会活動の公開は市政情報の公開にも繋がっているため施策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市議会の活動を広く市民に広報する責務がある。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 議会活動の周知媒体としての一躍を担っているため、維持・継続は妥当であると考えている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 紙面の充実(カラー印刷、ページ数の増)、発行部数の増などにより情報量、対象者を増やすことにより、数値的な成果の向上は見込めると思うが、いずれも、予算増による対応が必要なため、現状においては、今以上の成果の向上余地はないと考
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) 広報発行事業 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 行政側の取り組み周知と議会活動の周知については意味合いが異なるため統合、連携はすべきでは無いと考える。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市議会の活動を広く市民に広報することが不可能になる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市議会の活動を広く市民に広報することが不可能になり、市政に関心をもってもらう、きっかけ作りができなくなる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 読む人が分かりやすい効率的な紙面構成や表現文章等々、議会だより編集委員会により、協議した中で取り組んでいる。議会活動を周知するのに最低限必要な経費であると考えられるため、削減余地はないと思う。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 原稿を職員と編集委員がまとめる。また、編集を全て職員に任せただけでなく編集委員も行う等、人件費の削減に努めている。今以上の削減は見込めない。
	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市議会の活動状況を広く市民に広報する責務がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	議会活動を周知する為に必要な経費である。入札を行い、経費削減に努めている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					